[CASE 02]

音楽を奏でながら 消防団と地域をつなげる



豊町消防団音楽隊の前身は、1984年に編成されたラッパ隊で、1986年に音楽隊が結成されました。現在は団員26名の西置賜地区唯一の音楽隊です。

「出初式や消防演習、西置賜防災フェスタなどイベントの場で演奏活動をすることで、消防団の広報を担っています」

子どもが多いイベントであれば、ポップスであったりと馴染みのある楽曲を演奏したり、その場に合った曲のリストを組むなど、地域の方に興味を持ってもらえるような工夫をしていると言います。

「音楽隊は県内でも珍しい存在だと思いますが、音楽を通して消防活動の宣伝や、防災意識の啓発など、広報ができる存在だと思っています。メンバーは皆、仕事をしつつ、地域とつながりながら、仲間と一緒に演奏活動をしています」

今後も消防活動のイベントを通して、地域の人たちの目を引きつけていきたいと語る飯豊町消防団音楽隊の皆さん。音楽活動を通して消防団の士気を高め続けていきます。

② 1 やりがいはどんな時に感じますか?

限られた時間で練習を積み重ねて、練習した部分が本番当日 にうまく演奏できたときや、地域の方が喜ぶ姿を見られること、 拍手をいただいた瞬間がとても嬉しいです。「良い演奏をこれ からも届けていきたい!」と強く感じます。

②2 仕事や私生活と両立できますか?

できますよ!会社勤めでも自分のペースで参加できますし、活動を通して地域に貢献できます。また、音楽隊には女性団員が多いので、女性でも活動しやすい場になっています。楽器を吹くことで仕事や生活の息抜きにもなりますよ。



地域に貢献しながら 自分の特技を 生かせるチャンス!







I.消防行事での演奏の様子

2.限られた時間で、練習に真剣に取り組んでいます

3.飯豊中学校吹奏楽部の定期演奏会に参加